

2022年2月定例会代表質問要旨

2、**人口減少対策**は、産業誘致、企業誘致が重要であると考えており、働く場を作ること、人を呼び込むことができることを考えています。特に東港区エリアへの下水道の供給能力を増強し、食関連産業の集積に向けた環境を整備すべきと提案しました。

1、**新型コロナウイルス感染症への対策**は、苦小牧市内は連日多くの市民が新型コロナウイルスに感染しており、高齢者施設などでクラスターの発生、幼児や児童生徒など多くの子どもたちも感染し学級閉鎖や学年閉鎖になるなど、いっどこで感染してもおかしくない状況にあります。予防策の一つとしてワクチン接種は有効であると考えますが、適切な情報提供と一人でも多く、1日も早い接種に向けて対応することを強く要望しました。また、自宅療養者へのサポートとして相談窓口の設置・開設をすべきと提案しました。

7、**総合体育館**は、昭和48年に設置され、築

6、**ゼロカーボンシティへの挑戦**は、産業、暮らし、交通、公共などの幅広い分野で、まちの活性化につなげていくことが重要であり、特に2030年までの取り組みが鍵を握ると言われています。国に申請している脱炭素先行地域に選定されなかった場合であっても、それぞれの事業を実施していくという気概を持って望むことを強く要望しました。なお、CO2排出量を含むロードマップの作成やゼロカーボンの必要性など、市民との共通認識が図られるよう情報発信すべきと提案しました。

5、**行政改革**は、民間でできるものは民間への考えのもと、今後の子育てしやすい街を目指し、子育て世代のニーズや費用対効果の面からもメリットが大きい「放課後児童クラブ」の民間委託について、令和4年度中に導入すべきと提案しました。

3、**国産インフラ整備への対応**は、1日も早い解決を市民も願っており、市も気持ちは一緒であると考えています。難しい対応であることは承知していますが、市長の任期中の早期解決を強く要望しました。

4、**町内会が抱える課題への対応**は、役員の高齢化や担い手不足、加入率の低下に伴う会費収入の減少など課題は様々であり、従来の町内会活動や組織のあり方について変革の時期にきていると考えます。地域の新たな役割分担などを検討し、新しい町内会を構築するためコミュニケーション・スクールとの連携を強化すべきと提案しました。

10、**科学センター**は、あり方や必要性などの方向性について議論されているものの、令和4年度教育行政執行方針に全く記載されておらず、街の活性化に向けた核となる施設となるため、候補地選定も含め早期に検討すべきと提案しました。

9、**環境教育**で注目すべきキーワードは「ゼロカーボンシティ」であると考えています。これは、今の子供たちが大人になったとき、まさに自分自身の社会生活環境に直結する大きな問題であり、学校教育の中で考え方を身につけることが重要であると提案しました。

8、**家庭ごみ戸別収集事業**は、市内にモデル地区を選定し、試行・検証を実施しています。これまでコスト増や人材確保、収集時間などに課題があり、全世帯への戸別収集を一時凍結している状況ですが、課題を先送りせず戸別収集に対する結論を早急に出すべきと提案しました。

50年を迎えようとしています。施設整備計画に基づき検討が進められますが、令和11年4月の供用開始を目指すには、今後の1年、2年間で具体的な検討を進めなければ間に合わないため、候補地の選定を含め早期に検討すべきと提案しました。

改革フォーラム 市政レポート

令和四年度上期号

苦小牧市議会
会派改革フォーラム市政報告
連絡先：苦小牧市旭町4-5-6
0144-32-6785



発展する苦小牧と共に豊かな暮らしを実現します。

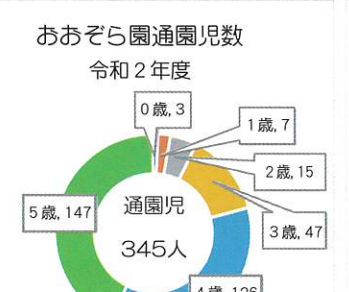
牧田としゆき 市政報告

主な役職：安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会 委員長
：苦小牧連合議員団会議会長
：東開町内会副会長

〒059-1301
苦小牧市東開町2丁目4-27
携帯 090-2077-6544

12月議会一般質問

・健康〔幼児検診〕



5歳児発達相談の件数〔アンケートへ回答及び相談へ繋がった件数〕の少なさから、軽度発達障害などが見過ごされている懸念があり、幼稚園・保育園・おおぞら園に通園する幼児に関する質疑を行いました。市からは「市内保育園などからの声として障害児の受け入れが年々増加している。障害の疑いのある子供に対する保育配慮など対応に苦慮していると認識している。」と答弁があり、障害疑いのある幼児すべてが医療機関での判定やおおぞら園への通園出来るように、発達支援コーディネーターの設置を提案しましたが、様々な意見を聞きながら他市事例など調査したいとの回答でした。引き続き子供たちの健やかな成長につながるよう取り組んでいきます。

※**おおぞら園**（児童通所支援）
発達に遅れや心配のある児童に対し、個別的・集団的に必要な訓練・指導を行い、個々の児童の発育・発達を促すとともに経験を豊かにすることで、円滑な社会生活へつなげることを目的とした施設。

3月議会 一般会計予算審査特別委員会

番号	予算項目	事業名	R4予算額 (金額：千円)
1	総務費	ワーケーション拠点構築事業	10,000
2	総務費	氷都とまこまい体感プログラム	2,500
3	総務費	防犯対策事業	6,698
4	総務費	高齢者安全運転支援装置設置促進事業	500
5	総務費	防災備蓄品整備事業	6,177
6	民生費	おおぞら園運営について	
7	民生費	市民後見推進事業	30,666

番号	予算項目	事業名	R4予算額 (金額：千円)
8	環境衛生費	ゼロカーボンハウス促進事業	7,000
9	環境衛生費	アライグマ・エゾシカ等生活環境被害対策事業	10,840
10	農水産業費	畜産担い手育成総合整備事業	7,064
11	商工費	地方創成地域コミュニティ活性化支援事業	30,451
12	土木費	雪氷対策費	250,000
13	消防費	救急車両整備事業	34,993
14	消防費	高機能消防司令システム部分更新事業	89,210

我々の仲間をみんなで応援しよう！



参議院議員 **はまぐち誠** さんの紹介

プロフィール
1965年 三重県松坂市生まれ
1988年 筑波大学第三学群社会学類 卒業
トヨタ自動車株式会社 入社
2002年 全トヨタ労働組合連合会 副事務局長
2008年 自動車総連 事務局長
2015年 自動車総連 特別中央執行委員
2016年 参議院議員選挙初当選、全トヨタ労連顧問

メッセージ
「2022年新しい年が始まりました。2016年7月の初当選以来、ご支援いただいている全ての皆さんに心からお礼を申し上げます。国会議員として5年半仕事をさせていただき、常に職場で日々懸命に働く皆さんの声やご意見が、私の活動の原点であり、ブレることなく取り組んで参りました。自動車産業と関連産業が、カーボンニュートラルや自動運転など、100年に一度の大きな変革期にある中、政治が果たす役割と責任は、これまで以上に重要になると思います。働く仲間の皆さんの声をこれからも国会に届け、雇用や生活を守り、産業の発展・成長につなげていきたいと考えます。今年7月、2回目のチャレンジとなります。皆さんとともに必ず乗り越えていきたいと思っております。最後までのご支援、宜しくお願い致します。」



左から 牧田議員、越川議員、松井議員、首藤議員